【資料４】

平成２６年度市政世論調査結果報告書（抜粋）

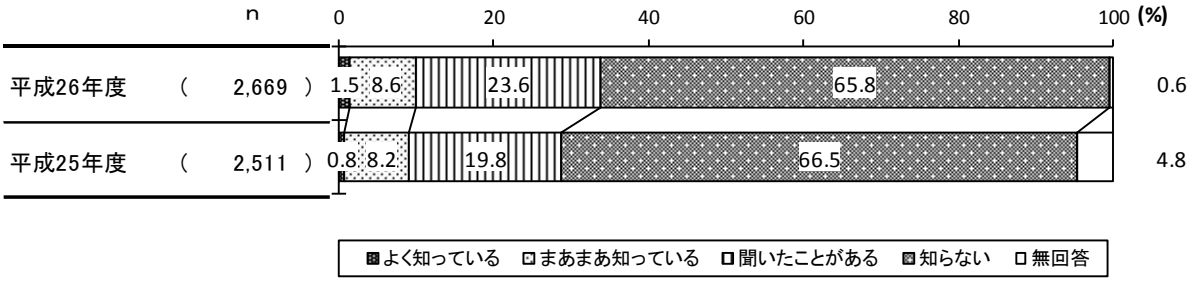
１．自治基本条例関係について

（１）「越谷市自治基本条例」の認知

◇『知っている』は約１割

問 10.　越谷市では、参加（※１）と協働（※２）によるまちづくりを推進するため、平成２１年に「越谷市自治基本条例」を制定しました。このような条例があることを知っていますか。次の中から**１つ**選んでください。

図表２-１　「越谷市自治基本条例」の認知



※１参加：市政に市民の意見を反映させるため、市民が市政に関わっていくこと。（例：市長のふれあいミーティング、市長への手紙、意見公募手続、各種アンケート、各種審議会等への参加等）

※２協働：自治会をはじめとする地域コミュニティ組織やＮＰＯなどの市民活動団体等と市が、ともに公共を担う対等なパートナーとしてまちづくりに取り組むこと。

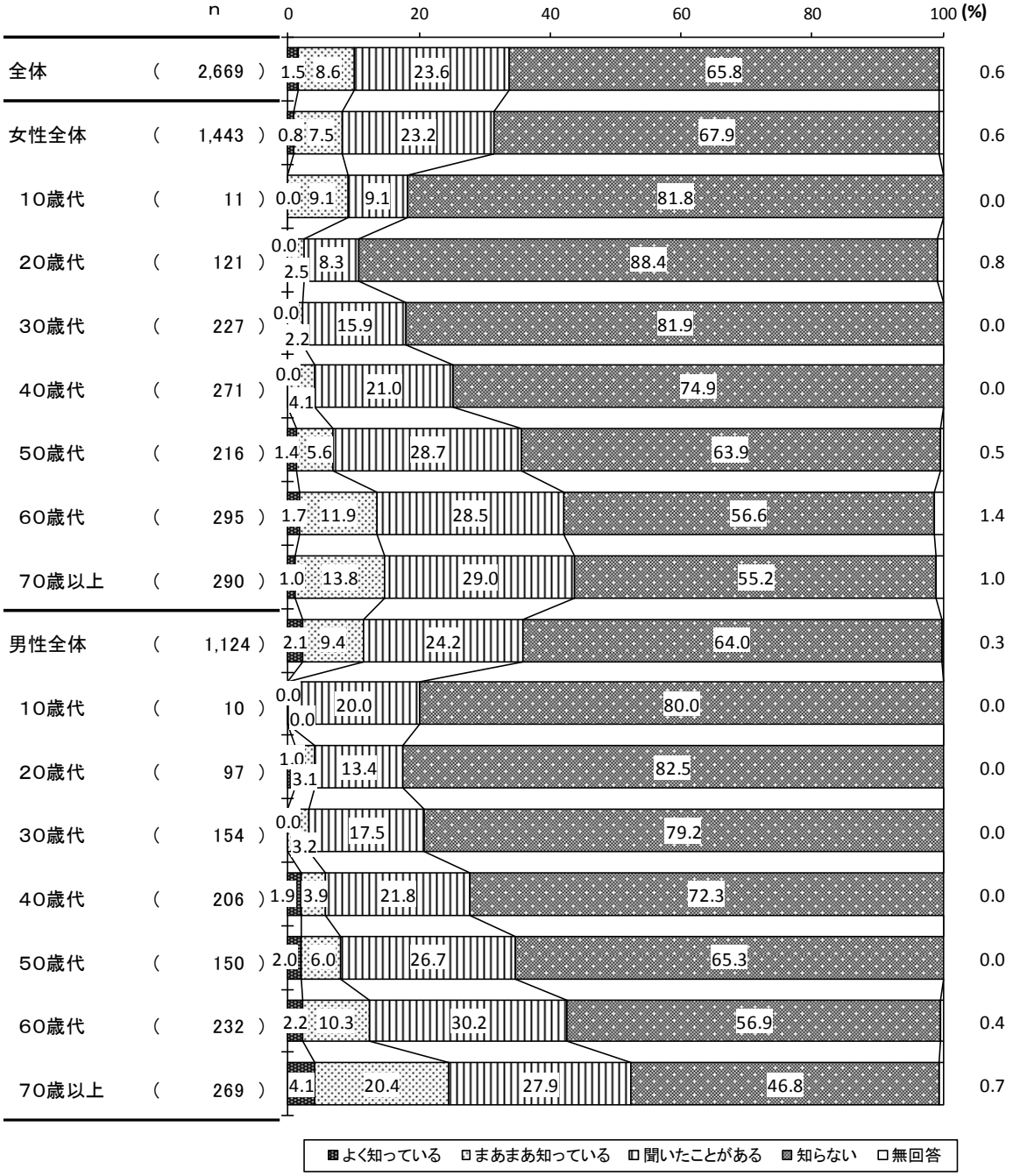
「越谷市自治基本条例」については、「よく知っている」（1.5%）と「まあまあ知っている」（8.6%）を合わせた『知っている』（10.1%）は約１割となっている。一方、６割半ばが「知らない」（65.8%）と回答している。

前回調査と比較すると、「聞いたことがある」（19.8%）は 3.8 ポイント増加し、一方、「知らない」（66.5%）は 0.7 ポイント減少している。

性別でみると、『知っている』は女性（8.3%）・男性（11.5%）による大きな差異はみられない。

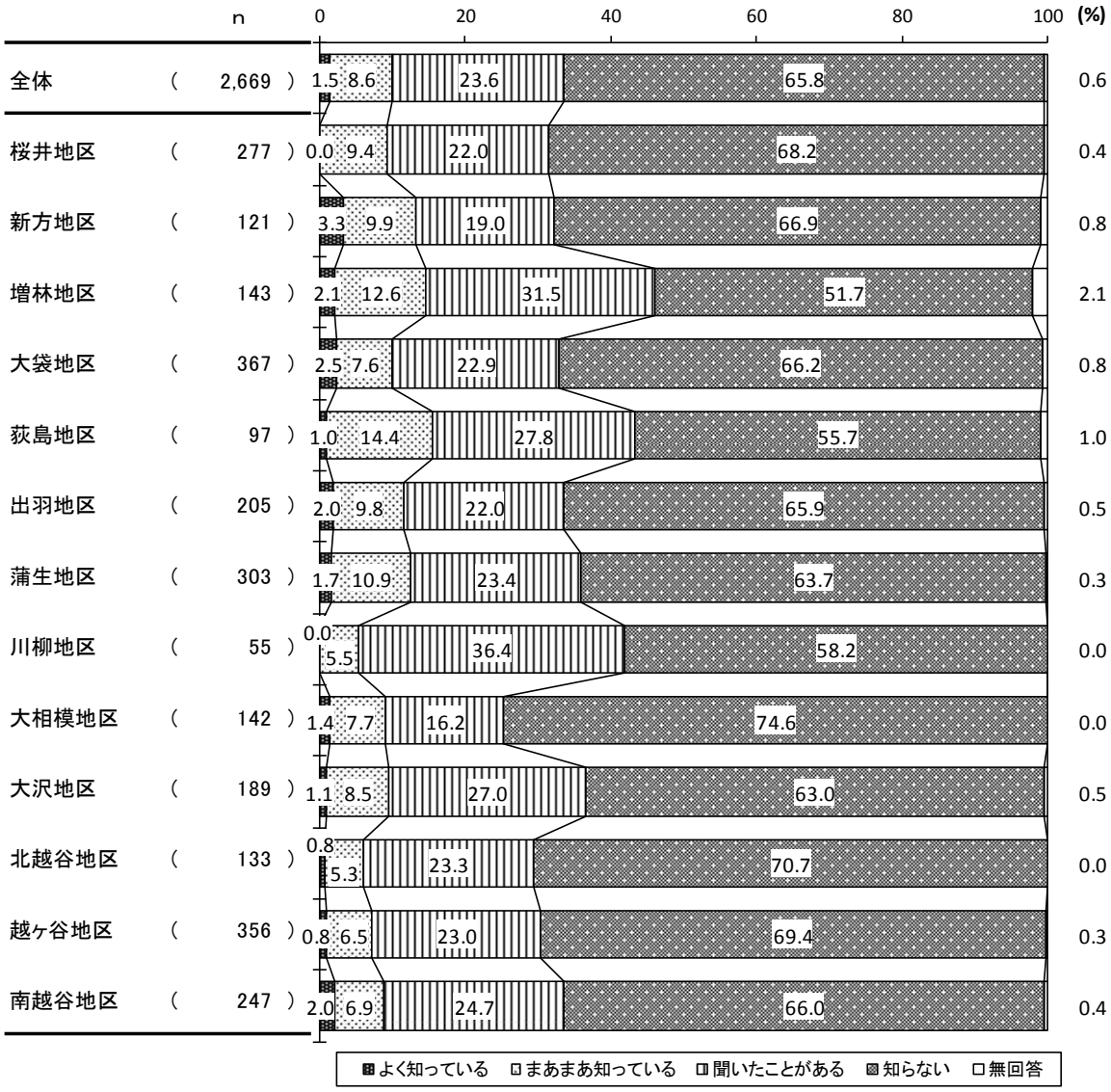
性・年齢別でみると、『知っている』は男性 70 歳以上（24.5%）で２割半ば、女性 70 歳以上（14.8%）で１割半ばとやや多くなっている。一方、「知らない」は女性・男性とも 20 歳代（女性 88.4%、男性 82.5%）で８割以上と最も多くなっている。

図表２-２　性・年齢別　「越谷市自治基本条例」の認知



地区別でみると、「知っている」は萩島地区（15.4%）で１割半ばとやや多くなっている。一方、「知らない」は大相模地区（74.6%）で７割半ばと最も多くなっている。

図表２-３　居住地区別　「越谷市自治基本条例」の認知

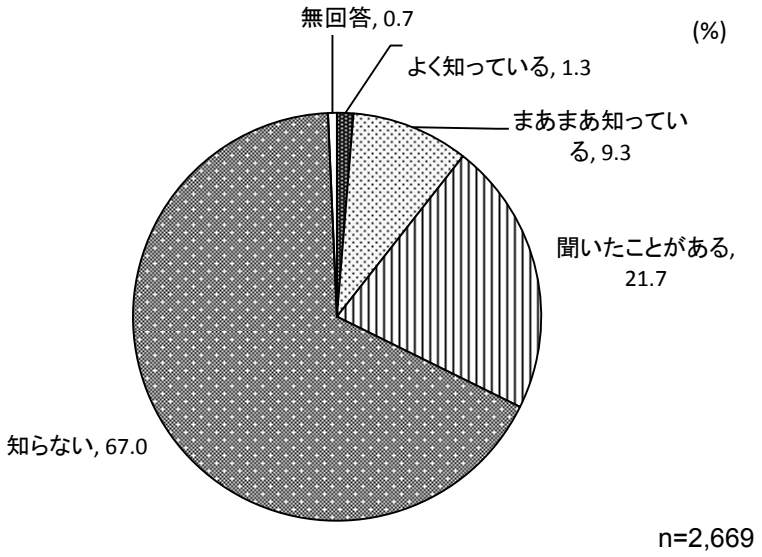


（２）参加と協働のまちづくりの認知

◇『参加と協働によるまちづくり推進の認知』は２/３が「知らない」

問 11. 越谷市は、問 10 の条例に基づいて、参加と協働によるまちづくりを推進しています。そのことを知っていますか。次の中から**１つ**選んでください。

図表２-４　参加と協働のまちづくりの認知

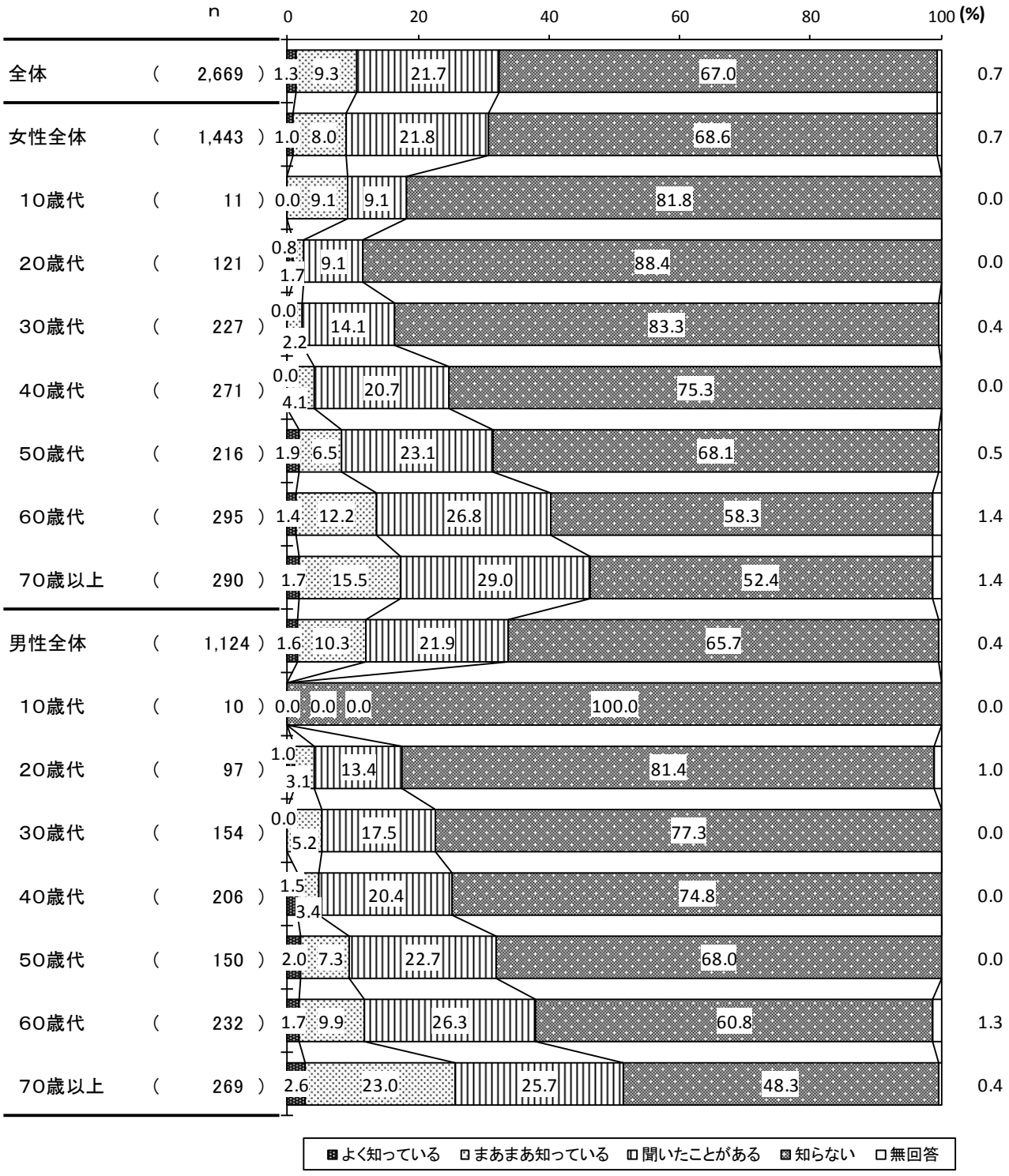


「参加と協働によるまちづくり」については、「よく知っている」（1.3%）と「まあまあ知っている」（9.3%）を合わせた『知っている』（10.6%）は約１割にとどまっている。一方、「知らない」（67.0%）は６割半ばとなっている。

性別でみると、『知っている』は女性（9.0%）・男性（11.9%）で性別による大きな差異はみられない。

性・年齢別でみると、『知っている』は女性・男性ともに70歳以上が最も多く、男性（25.6%）が女性（17.2%）より8.4ポイント高くなっている。

図表２-５　性・年齢別　参加と協働のまちづくりの認知

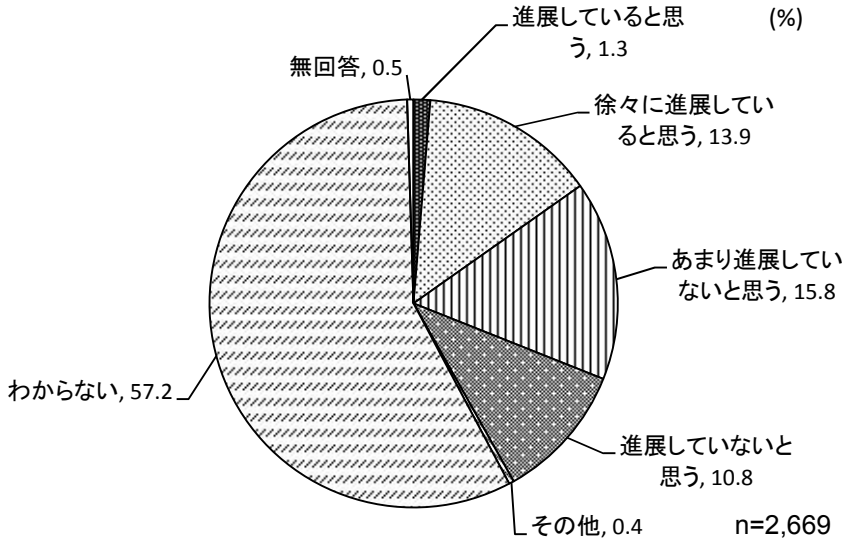


（３）参加と協働のまちづくりの進展

◇『参加と協働のまちづくりの進展』は約１割半ば

問 12. 参加と協働によるまちづくりが進展していると思いますか。
次の中から**１つ**選んでください。

図表２-６　参加と協働によるまちづくりの進展

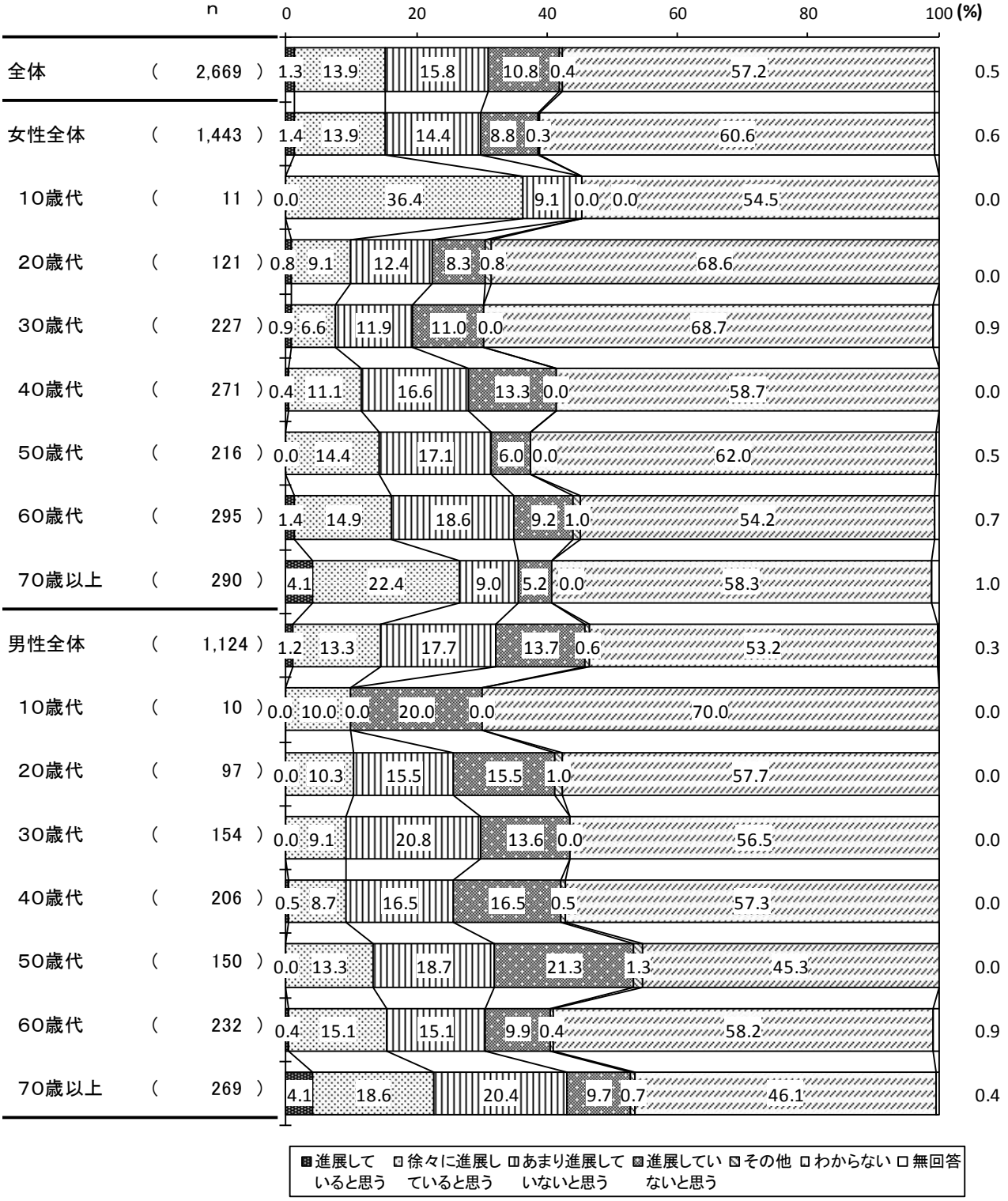


「参加と協働によるまちづくり」については、「進展していると思う」（1.3%）と「徐々に進展していると思う」（13.9%）を合わせた『進展』（15.2%）は１割半ばとなっている。一方、「わからない」（57.2%）は６割弱となっている。

性別でみると、『進展』は女性（15.3%）・男性（14.5%）に大きな差異はみられない。

性・年齢別でみると、『進展』は女性 10 歳代（36.4%）、女性 70 歳以上（26.5%）、男性 70 才以上（22.7%）で２割以上となっている。

図表２-７　性・年齢別　参加と協働のまちづくりの進展

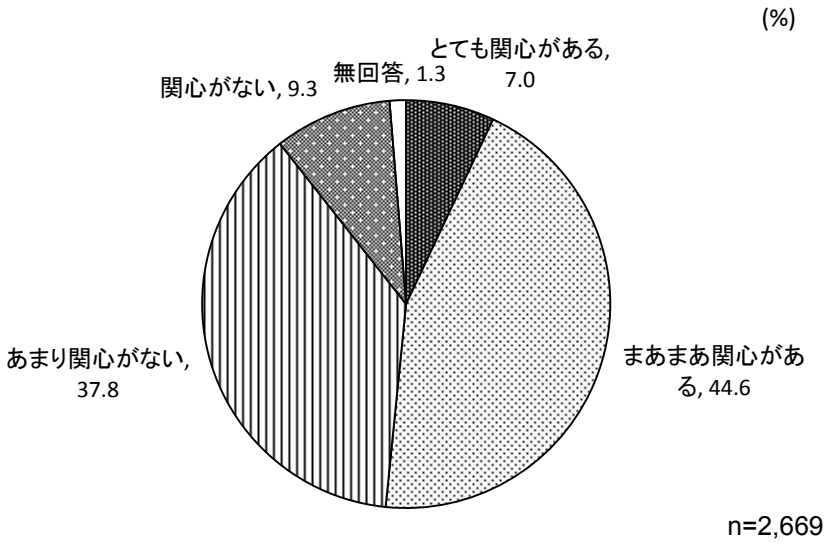


（４）市政への関心

◇『市政への関心』は約５割

問 13.　あなたは、市政に関心がありますか。次の中から１つ選んでください。

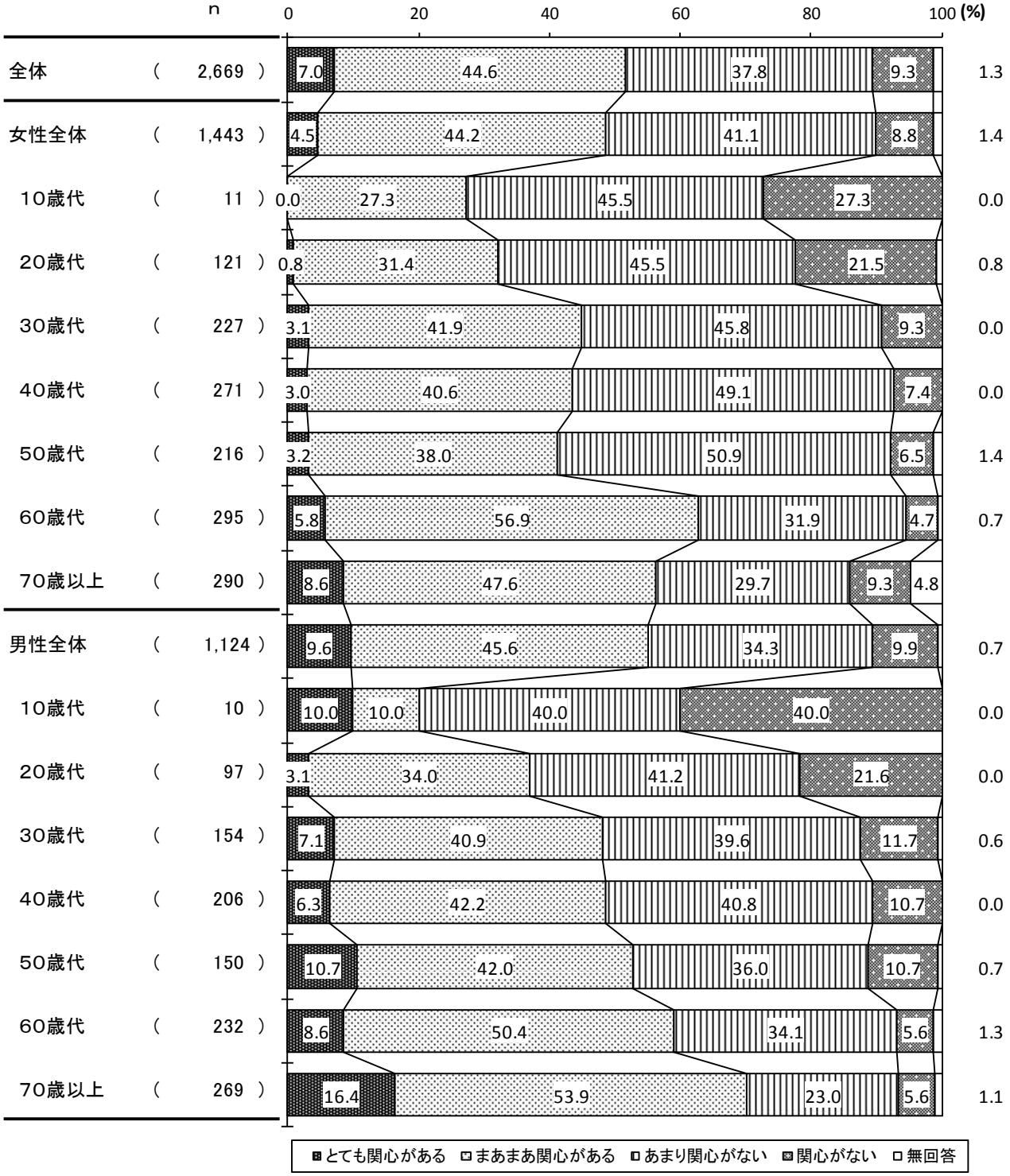
図表２-８　市政への関心



「市政への関心」については、「とても関心がある」（7.0%）と「まあまあ関心がある」（44.6%）を合わせた『関心がある』（51.6%）は約半数となっている。

一方、「あまり関心がない」（37.8%）と「関心がない」（9.3%）を合わせた『関心がない』（47.1%）は５割弱となっている。

性別でみると、『関心がある』は男性（55.2%）が女性（48.7%）より 6.5 ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、『関心がない』は男性 10 歳代（80.0%）で８割と最も多くなっている。次いで、女性 10 歳代（72.8%）、女性 20 歳代（67.0%）、男性 20 歳代（62.8%）で６割以上と若い世代で特に多くなっている。

図表２-９　性・年齢別　市政への関心